

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日 年 月 日

Table with columns for 事務事業名, 国民保護計画事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details like 0401 防災・消防対策の充実 and 01 防災・消防対策の充実.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (国民保護法に基づき、平成19年2月に桜川市国民保護計画を策定した。桜川市内に武力攻撃事態が発生した場合は、国、県と連携し本計画に基づいて情報伝達・避難誘導・救護救援措置を行う。計画変更が必要な場合は、桜川市国民保護協議会において審議・決定を行う。また、国及び県との各種緊急情報に関する通信伝達訓練を定期的に実施する。) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (国・県との通信伝達訓練の実施。Jアラートによる緊急通報受信。)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for J-AREAT training and emergency communication.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 27, 28, 29, 30, 31 years. Columns include 27年度(実績), 28年度(実績), 29年度(計画), 30年度(目標), 31年度(目標), and 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 人件費, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

Table showing internal costs for 28 and 29 years. Columns: 28年度事業費 実績 (千円), 29年度事業費 予算 (千円). Rows include 01 報酬 and 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. A list of activities: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業. An arrow points to the right.

事務事業名	国民保護計画事業	事務事業No.	40101000667	所属課	生活安全課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成14年に国民保護法が制定されたことを受け、平成19年2月に、桜川市国民保護計画を策定した。今のところ、武力事態攻撃等は受けていないが、世界の不安定な社会情勢やテロの脅威などが毎日のように報道されており、日本でも、万が一の事態に対する備えが必要となっている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 テロや北朝鮮の動きが懸念されている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果		コスト			向上	削減	維持	増加	維持 低下			
成果			コスト											
	向上		削減	維持	増加									
	維持 低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果														
コスト削減優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>